

全日本マーチングコンテスト岩手県大会 実 施 規 定

第1章 総 則

- 第1条** (大会名称)
この大会は「全日本マーチングコンテスト岩手県大会」という。
- 第2条** (実 施)
全日本マーチングコンテスト岩手県大会(以下、県大会)は、岩手県吹奏楽連盟(以下、県吹連)に加盟する団体が参加して、毎年実施する。
- 第3条** (実施会場・日時)
実施会場・日時などの必要事項は、県吹連評議員会(以下、評議員会)の協議により決定する。
- ### 第2章 実施区分および参加資格
- 第4条** (実施部門)
実施部門は次のとおりとする。
① 中学校の部
② 高等学校以上の部
③ ビギナーの部
なお、ビギナーの部は「中学校」、「高等学校以上の部」への導入段階として実施される部門であり、上位大会は全日本吹奏楽コンクール東北大会までである。
2 加盟団体が、ビギナーの部とそれ以外の部門に重複して参加することは認めない。
- 第5条** (参加資格)
参加資格は、県吹連に登録された団体で次のとおりとする。
① 中学校
構成メンバーは同一中学校に在籍している生徒とする。(同一経営の学園内小学校児童の参加は認める。)
② 高等学校
構成メンバーは同一高等学校に在籍している生徒とする。(同一経営の学園内小学校児童・中学校生徒の参加は認める。)
③ 大 学
構成メンバーは同一の大学に在籍している学生とする。
④ 職 場
同一経営の会社、工場、事務所、官公庁(それぞれグループ企業・団体も含む)などで経営者または組合などの認可を得て設立されている団体であって、構成メンバーはその勤務先に勤務しているものとする。
⑤ 一 般
団体構成メンバーは自由とする。ただし、職業演奏家の参加は認めない。
2 出演者が二つ以上の団体に重複して出場することは認めない。
- 第6条** (入賞取消)
参加団体の資格に疑義あるときは出場を停止または入賞を取り消すことができる。
- ### 第3章 演奏・演技
- 第7条** (参加人員)
参加人員は、DMを含んで81名以内とする。但し、指揮者はこの人数に含まない。
- 第8条** (編 成)
編成は、木管楽器・金管楽器・打楽器(擬音楽器を含む)とする。電子楽器(エレキベースを含む)、ピアノ、チェレスタ、ハーブの使用は認めない。
- 第9条** (出演時間)

出演時間は6分以内とする。出演時間とは、演奏または演技の開始より終了までの時間をいう。ただし、ビギナーの部の出演時間は5分以内とする。

- 第10条** (演奏曲目)
演奏曲は自由とする。
- 第11条** (規定課題)
参加団体は別に定めた規定課題を演技しなければならない。規定課題はその年度ごとに全日本吹奏楽連盟理事会で決定し発表する。ただし、ビギナーの部は規定課題のなかの任意の2つの課題をおこなう。
- 第12条** (出演順序)
出演順序は実行委員会において決定する。
- ### 第4章 表彰および代表
- 第13条** (審査員)
審査員は評議員会で選出し、会長がこれを委嘱する。審査員の数は原則として5名とする。
2 審査方法は評議員会の定める審査内規による。
- 第14条** (規定審判員)
規定課題を判定する規定審判員を2名おく。
2 規定審判員は、実行委員会から委嘱された理事がおこなう。
3 減点の基準については「全日本マーチングコンテスト岩手県大会審査内規」による。
- 第15条** (表 彰)
表彰は金賞・銀賞・銅賞の何れかを贈る。代表に選出された団体に副賞としてトロフィーを贈る。
- 第16条** (代 表)
参加団体の中から、別に開催される全日本小学校バンドフェスティバル岩手県大会とあわせて7団体を東北大会に推薦する。ただし、ビギナーの部からは、中学校、高等学校以上の部からそれぞれ最大1団体のみとする。
2 2年連続してビギナーの部で東北大会に出場した団体は、次年度ビギナーの部に出場できない。
- 第17条** (参加費用)
県大会出場に要する費用は参加団体の負担とする。

第5章 そ の 他

- 第18条** (共催・後援・協賛)
県大会実施にあたって評議員会が必要と認めた場合は、共催および後援、協賛団体を持つことができる。また、賞状・賞品の贈与を受けることができる。
- 第19条** (実行委員会)
県大会実行委員会は県吹連会長の委嘱により組織される。
- 第20条** (実施要項)
その他開催上の細目については実行委員会が定める。
- 第21条** (改 定)
この規定は評議員会の議により改定することができる。

第6章 付 則

本規定は、平成9年5月17日より施行する。
本規定は、平成10年2月18日より施行する。
本規定は、平成11年6月11日より施行する。
本規定は、平成14年5月11日より施行する。
本規定は、平成16年2月14日より施行する。
本規定は、平成16年5月8日より施行する。
本規定は、平成19年5月12日より施行する。
本規定は、平成20年4月19日より施行する。
本規定は、平成25年4月14日より施行する。

全日本マーチングコンテスト岩手県大会 審査内規

- 第1条** この内規は全日本マーチングコンテスト岩手県大会実施規定第13条に基づき審査及び判定について定めるものである。
- 第2条** 審査員は「演奏（技術）」「演奏（表現）」「演技」「音と動きの調和」の4項目について、それぞれA・B・C・D・Eの五段階で評価する。
- 第3条** 規定課題の不合格は、1課題について総合得点から10点減点する。
- 第4条** 審査結果の処理は、会長から委嘱された3名によって構成される判定委員会が行う。
- 第5条** 判定委員会は審査員の評価を点数化し、一覧表を作成する。点数換算は、Aを5点、Bを4点、Cを3点、Dを2点、Eを1点とする。

2 一覧表から審査点を算出する。審査点は全審査員の点数の総和とする。

第6条 審査点に基づき、金・銀・銅の三段階にグループ分けを行う。

第7条 代表の選出は、全部門を通じて審査点の高い順とし、これで決着がつかない場合は審査員の投票とする。

第8条 審査一覧表は、後日、県大会実行委員会から各支部事務局を通じて各団体に通知する。

付記 本内規は平成9年5月17日より施行する。
本内規は平成10年2月18日より施行する。
本内規は平成11年6月11日より施行する。
本内規は平成14年5月11日より施行する。
本内規は平成15年11月15日より施行する。
本内規は平成16年5月8日より施行する。
本内規は平成19年5月12日より施行する。

2016年度マーチングコンテスト「規定課題」

この大会は「コンサートバンドがそのまま演奏しながらパレードをしよう」という一貫したコンセプトのもとに開催されており、過度な演出や華やかな服装を求めています。
多くのバンドにコンサート活動とともにマーチング活動も気軽にやっていただきたいと願っています。

1 規定課題と入退場

規定課題は、出演者全員（ドラムメイジャーを含む）が行う。ただし、身体的な事情により規定課題を行えない場合は、事前に届け出をした上で許可を受けること。なお、規定課題の実施中、原則、ドラムメイジャーは隊列の先頭に位置し、指揮を行うこと。また、ドラムメイジャーは1名とする。

① 3列以上の隊列が四角形ラインに沿って行進しながら一周する。

【解釈】

- (ア) 隊列の一番外側が常に20mライン上または20mラインを越えていること。
(イ) 行進は連続して行い、隊列全体が停止しないこと。
(ウ) 隊列全体がスタート位置に戻った時点で一周とする。
(エ) コーナーのターン（90度方向転換）の方法は自由とする。

② 3列以上の隊列がセンターラインに沿って行進をしながら、180度方向転換（各列Uターン）を1回行う。

【解釈】

- (ア) 方向転換後、2歩以上直進する（3歩目以降から次の動作にはいること）。ドラムメイジャーはターンの指揮を行い、自らも180度のUターン（Iターンも可）を行うこと。
(イ) センターラインは、縦横どちらでも良い。

③ 足踏み演奏（マークタイム）を連続32歩間以上行う。

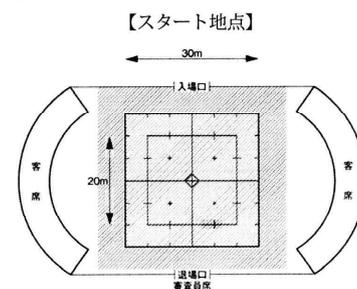
【解釈】

- (ア) かかとがはっきりと上がっていることが確認できるように演技する。
(イ) 32歩目で次の動作に移ることは可とする。
(ウ) 足踏み演奏（マークタイム）をしながら方向転換（ピボット）することは可とする。

■上記、①、②、③のいずれかひとつでも行わなかった場合、失格とすることがある。

2 手具・大道具・使用楽器・指揮者

- ① 手具の使用については、大会の基本理念に沿うこと。
② 大道具・ピット楽器の使用は認めない。
③ メイジャーバトン・フラッグの放り投げは、危険防止の観点から禁止する。
④ 編成は木管・金管・打楽器とする。エレキベース、ピアノ、チェレスタ、ハーブの使用は認めない。
⑤ ドラムメイジャーの他に指揮者を置く場合、指揮者は規定課題をしなくても良い。



※<http://www.ajba.or.jp/kiteikadai2015.pdf> [(一社)全日本吹奏楽連盟公式HP] 『2015規定課題』から転載